

## 《事例A》

氏 名 : Aさん(82歳) 女性  
住 所 : 桑名市在住(要介護2)  
家族構成 : 本人、夫、娘家族(娘、夫、子) 5人同居世帯  
疾 患 : 認知症

- ① 要介護2の認定を受け、小規模多機能サービスを利用開始。週2回、自宅での入浴介助のためヘルパーが訪問し、他の曜日は通所に通っていた。家族は共働きであり、昼間独居状態。月に1回の受診には娘が仕事を休みYクリニックに連れて行っていた。
- ② 通所の迎え時や、ヘルパー訪問時に、冬季にも関わらず暖房器具の無い部屋に本人が寝ているという状況がしばしばみられた。
- ③ ヘルパーの入浴介助時に腸骨部発赤が認められた。本人居室内には数日たったと思われる食べ残しのパンが散らばっていた。ケアマネージャー訪問時も同じような状況で、本人に食事の状況を確認するが、「食べている」とだけ言う。家族には褥瘡のリスクを説明し受診を勧めたが、その後受診をしたという報告はない。
- ④ 翌月も体重の減少が続き、ケアマネージャーより再度家族に受診の確認をするも、仕事が忙しく行けていないと返答があった。
- ⑤ その後、家族からサービス利用を中止したいとの連絡がケアマネージャーに入った。

## 《事例B》

氏名 : Bさん(82歳) 女性  
住所 : 桑名市在住(要介護1)  
家族構成 : 本人、夫(82歳、主介護者)と二人暮らし。長女が隣市に在住  
疾患 : 認知症

- ①長女が週1～2回程度、仕事の合間に訪問あり。本人には認知症があり、同じ話の繰り返しや物忘れが見られる。家事は主に夫が担い、本人も一部手伝う。現在、デイサービスを週2回利用している。
- ②Bさんは最近デイに来てても元気がなくふさぎ込んでいることが多く、気の合うスタッフが声を掛けても会話が弾まない。
- ③デイ利用日の朝、デイ職員がお迎えの為に訪問したが、本人がなかなか出て来ない。家の中から、夫が何か叫んでいるような声が聞こえた。しばらくして、夫に引きずられるようにして、本人が玄関に連れられてきた。夫より「トイレに間に合わず、汚したので、着替えさせていた」と。本人は怯えたような表情であった。
- ④数日後、デイでの入浴時に職員が本人の右肩や下肢にアザを発見。本人に聞くと「転んだ」と言われる。
- ⑤後日、担当ケアマネージャーが自宅を訪問した時、玄関先まで夫が大きな声で怒鳴っている声が聞こえてきた。夫から「調理にしても何にしても、妻が手伝いに来ると、かえって手間がかかる。カッとなってしまう、つい手が出てしまう」との訴えがあった。

## 《事例C》

氏名 : Cさん(80歳) 女性  
住所 : 桑名市在住(要介護2)  
家族構成 : 本人、息子の二人暮らし  
疾患 : 糖尿病、腰椎圧迫骨折、認知症  
収入 : 厚生年金 2ヶ月で16万円

- ① ケアマネがモニタリングのため本人宅に行くと、毎回汚れた同じ服を着てくるので違和感を感じた。本人に聞くと、「うちはお金がないから節約をしないといけないし、好きな服だからいいのよ」と言われる。
- ② 福祉用具業者から、料金の滞納が4ヶ月分あるとケアマネが報告を受ける。息子に連絡をすると、「半年前から失業していてお金がない。しかし、今月から働き出したので、遅れてですが支払います」と話す。
- ③ 福祉用具業者から、支払いがされないので催促をしているが、応じてくれないとケアマネが報告を受ける。息子に話を聞くと、「仕事が合わなかったので辞めた。お金がないので待つてほしい」との事。本人からは「恥ずかしいから言わないで欲しいけど、家も大変だから私は助けなきゃいけない。だから年金を渡すの。」と聞く。薬がないので聞くと、医療費も滞納しているので、病院に行く事ができていないとの事。
- ④ 息子から電話があり、「福祉用具を返却する。家で介護するからもういいです」と一方的に電話が切られる。